

5

■小鳥のさえずるキャンプ場

たか鷹の巣 (岩船・関川村)

■環境：森林
 ■対象：家族
 ■期間：5月上旬～7月中旬

荒川温泉郷の奥にあり、関川の清流と豊かな森に囲まれ昔からの探鳥地として知られている。最近ではキャンプ場として利用され、家族連れにも親しまれている。

《吊り橋を渡って夏鳥たちと出会う》

鷹の巣駐車場に車を止めて、吊り橋を渡ってバードウォッチングがはじまる。早朝のさわやかな空気を胸いっぱい吸い込んでスカッとした気分が小道に入るとキビタキの「ポッピリ、ピピロピピロピピロ」と澄んだ声が聞こえてくる。探鳥コースの中では、雄の数で10羽以上は生息しており、美しい姿を見ることが出来る。

さらに進むとオオルリ、センダイムシクイ、ヤマガラ、メジロ、コルリなどが競うようにさえずっている。キャンプ場の入り口で左側の山道に入るとイカル、ヤブサメ、キビタキ、ヒヨドリなどが上空に飛び、あるいはさえずりが聞こえてくる。

《清流のほとりでは》

キャンプ場を右に見て道は河原に向かって下り坂となる。ここでキビタキ、オオルリ、

ヤブサメなどを楽しみながら川沿いの道に出る。

キセキレイが美しい姿で水辺を歩き、空中に飛び上がってフライングキャッチする場面を見ることが出来る。

右手の森からはメボソムシクイ、ヤブサメ、キビタキ、コゲラなどの声が聞こえてくる。

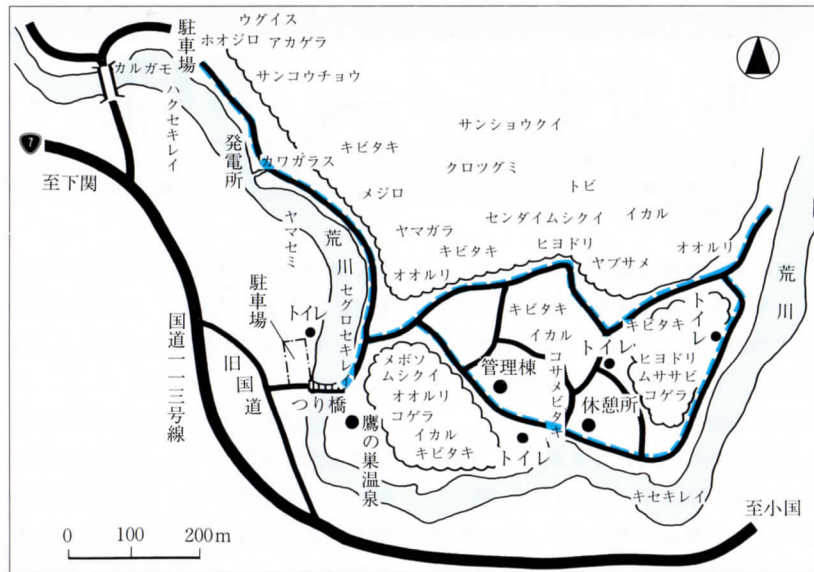
《荒川右岸を下る》

キャンプ場を後にして道を右に曲がると、荒川右岸を歩くことになる。

河原ではセグロセキレイが、山側か



キャンプ場付近



らオオルリ、メジロ、キビタキ、ヒヨドリが盛んにのどを震わせている。

やがて右手からの細い沢水の流れる川にさしかかる。そこにはカワガラスが生息しているので近くに腰をおろして一服していると「ピッピッ」と鳴きながら姿を見せることがあるし、対岸でヤマセミが「ケレケレ」と鳴きながら飛ぶ姿を見ることがある。発電所を過ぎてヒノキ林に入るとサンコウチョウが鳴き、アカゲラのドラミングが乾いた音で聞こえてくる。ここで引き返し、つり橋を渡り駐車場に戻る。

(加藤誠一)

メモ

交通 車が便利。国道7号線を利用し、荒川町で113号線に移る(所要時間約1時間半)。

JR越後下関駅下車で鷹の巣行きのバス、「鷹の巣」下車(所要時間22分)ただし1日2往復。

☐ 駐車場有り。キャンプやもみじ狩りの時期を除けば空いている。トイレは駐車場及びキャンプ場に数カ所設置されている。

道草 国道わきに道の駅「関川」がある。情報センターに観光ガイド、交通情報が視聴できるタッチスクリーンがある。また特産品や土産品も販売されている。歴史館もあって村の歴史資料のほか映像ホールで四季折々の自然やイベントの様を楽しむことも出来る。